



## 10月21日(木)全校生徒が秋の遠足へ行ってきました！

1学年は金沢大学（理数科）・金沢学院大学（普通科）と白川郷へ、2学年はアクアト岐阜と岐阜かがみはら航空宇宙博物へ、3学年は上高地へ行ってきました。緊急事態宣言も開け、久しぶりの遠足となりました。

1年生(金沢大学・金沢学院大学・白川郷)



2年生(アクアト岐阜・岐阜かがみはら航空宇宙博物館)



3年生( 上高地 )



天候にもめぐまれ、どの学年も秋の一日を満喫することができました。この遠足で、クラス・学年の親睦が一段と深まったようです。





# YCK PROJECT REPORT

地域課題解決型キャリア教育「吉高地域キラメキプロジェクト」

地域をフィールドに多様な人とのつながりが価値ある学びをつくる

第6号

11月11日

2021

発行

## YCKプロジェクト 課外活動プログラム「③小学生サイエンス教室」を実施しました！

### 課外活動プログラムとは、

自分の興味・関心・予定に合わせて参加できる、吉城高校の地域貢献活動です。今年度もバラエティーに富んだ魅力あふれる12のメニューを実施します。当日に参加するだけではなく、事前学習や振り返りによって、体験を通した学びを充実させています。

### 「小学生サイエンス教室」

◆日時：令和3年8月10日(火) 10:00～12:00

◆場所：吉城高校

◆参加者：市内の小学生(24名)、  
本校1年生(2名)、2年生(8名)、3年(1名)



飛騨市内の小学5、6年生を対象に、小学生サイエンス教室を開催しました。教育関係の進路を考えている生徒が先生役になって、理科や算数の実験やワークショップを行い、地域の小学生に理科や数学の面白さを伝えます。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止しましたがとなりましたが、6回目となる小学生サイエンス教室には、市内の小中学校から24名の参加があり、万全の感染症対策をとったうえで実施しました。



今回の内容は、「カメラはなぜ写真をとれるの(理科)」と、「フラクタル図形ってなんだ(算数)」。小学生は2つのグループに分かれ、カメラの原理を学んで、箱カメラを作って風景写真を撮ったり、パスカルの三角形に現れる数字を奇数と偶数で塗り分け、フラクタル図形の美しさを体験したりしました。



参加してくれた小学生を対象に実施したアンケートには、「楽しかった」という感想に加え、「写真はなぜ反対に写るのか調べたい」や「奇数偶数以外の塗り方でもフラクタル図形になるのか調べたい」という感想がありました。小学生の「もっと深く知りたい」という知的好奇心をくすぐりたいという生徒の目標は達成できたようです。

今回のサイエンス教室で先生役を務めた生徒には、小学生の時に、第1回サイエンス教室に参加し、バナナのDNAを抽出したことで科学への関心を深め、本校の理数科に進学した生徒がいます。「高校生になったら、今度は自分がサイエンス教室の先生となって、参加した小学生に、自分がしたような楽しい体験をしてもらいたいと思い申し込みました。」と話してくれました。また、「小学生の思い出に残るような教え方を心がけました。楽しそうにやってくれてよかった。」という振り返りシートの記述からも、貴重な経験となったことがうかがえます。



ご参加いただいた小学生の皆さん、吉城高校でまたお会いできることを楽しみにしています。本当にありがとうございました。

＊小学生サイエンス教室実施には、  
飛騨市役所地域振興課様より多方面でのご支援をいただいています。

